

**横浜市立病院等安全管理者会議
検査部会
平成27年度活動報告**

**平成28年3月4日(金)
関内ホール・小ホール**

平成27年度検査部会委員

(五十音順) ☆ 幹事

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 検査部
横浜市立大学附属病院 臨床検査部
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 臨床検査部
国立病院機構横浜医療センター 臨床検査科
横浜市立みなと赤十字病院 検査部
横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部
昭和大学横浜市北部病院 臨床病理検査室
恩賜財団済生会横浜市南部病院 中央検査部
昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査室
横浜市立市民病院 検査部
横浜市北東部中核施設横浜労災病院 臨床検査部
横浜南共済病院 臨床検査科
恩賜財団済生会横浜市東部病院 臨床検査部
横浜市健康福祉局健康安全部 医療安全課

☆阿部 賢一
荻原 茂
遠藤 昌江
國仲 伸男
熊谷 正純
高浪 由紀子
津田 祥子
土橋 佳代子
寺内 純一
林 達也
☆町田 博
松井 浩之
横山 一紀
野崎直彦

検査部会活動状況

7月23日

第1回検査部会

11月5日

第2回検査部会

施設見学：横浜南共済病院

◎インシデント事例の共有

採血管バーコードの誤読

患者ラベルを黒マジックで消した。



別の患者ラベルを採血管に貼った。



到着確認



全く別の患者の情報が表示された。

◎インシデント事例の共有

採血呼出し番号の誤表示

採血番号を表示し患者を呼出した。



採尿があったため先に案内した。



次の番号を呼びだしたつもりが前の番号の表示のままであった。



採尿が終えた患者が表示を見てブースに来た。

◎インシデント事例の共有

患者の採血部位温めによるやけど

- ゴム手袋のお湯を入れて使用
- 洗面器にお湯に手を入れる
- 蒸しタオル



- ゲルなどの入ったウォーマーを恒温器で温めて運用する。

◎インシデント事例の共有

注射器から採血管への分注

シリンジ内で血液が凝固



無理やり分注



血液の飛散

検査部会活動状況

○各施設の採血業務の状況と問題点の抽出

開始時間 診療開始の30～1時間前

ピーク 開始から11:00

採血ブース 5～10

対応職員数 5～10名

担当部署 検査室のみで運営が5施設

看護部との共同が7施設

看護部のみで運営1施設

採血業務研修チェックリスト

1.採血室の体制

- 採血の開始時間
- 看護師と検査技師の関係
- 緊急時のバックアップ体制

採血室と外来等の位置関係で
体制が大きく変わる。

採血業務研修チェックリストの

2.採血前準備

- 採血管の確認
- 採血管の取りもれ対策
- 身体が不自由な患者への対応
- 器材の選択
 - グローブの選択(対ラテックスアレルギー)
 - 翼状針の使用

採血業務研修チェックリストの

3.患者対応

- リスク対応(抗凝固剤の使用患者等)
- 採血の同意を取る方法
- 患者の確認方法
- 聴覚障害・言語障害などの患者の対応
- 車椅子・ストレッチャーでの対応
- 採血中および止血時の患者観察方法

採血を受ける皆さんへ

安全のための確認事項

採血時の安全のため、以下の項目を確認しています。

1. 気持ち悪くなったことがある
2. アルコール消毒、テープに弱い
3. 血が止まりにくい
4. 透析用のシャント血管を作っている
5. 乳房切除手術をした

採血業務研修チェックリストの

4.手技

- 採血管の採血順序
- 駆血帯の可否
- すべての消毒薬が使用できない患者

- クレーム対応

平成27年度 検査部会 活動のまとめ

- インシデント事例の共有
- 今年度の目標は「採血業務研修チェックリスト」とし、部会メンバー各施設の採血業務の運営状況を調査した。
- 手順の中でそれぞれの問題点を抽出した。
- 未検討の部分については、来年度以降の課題とする。